

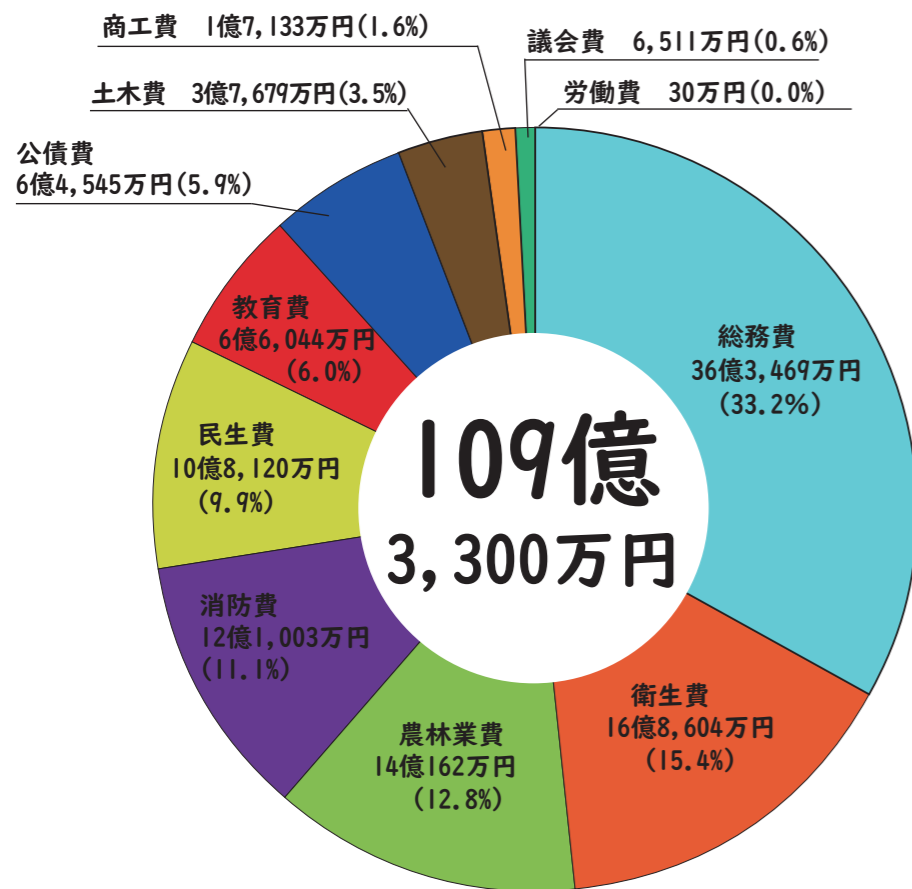
一般会計性質別内訳

	2年度決算額	元年度決算額	増減率
人件費	9億2,418万円	9億887万円	1.7%
物件費	8億2,040万円	9億7,137万円	△15.5%
維持補修費	1億6,276万円	6,326万円	157.3%
扶助費	3億4,674万円	3億4,022万円	1.9%
補助費	30億1,092万円	10億3,433万円	191.1%
公債費	6億4,545万円	5億6,758万円	13.7%

	2年度決算額	元年度決算額	増減率
積立金	8億911万円	6億5,578万円	23.4%
投資出資金	0円	0円	0%
貸付金	300万円	300万円	0%
繰出金	4億8,734万円	4億9,658万円	△1.9%
投資的経費	37億2,310万円	13億1,176万円	183.8%
合計	109億3,300万円	63億5,275万円	72.1%

決・算・報・告

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。これらが、行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に令和2年度決算の状況についてお知らせします。

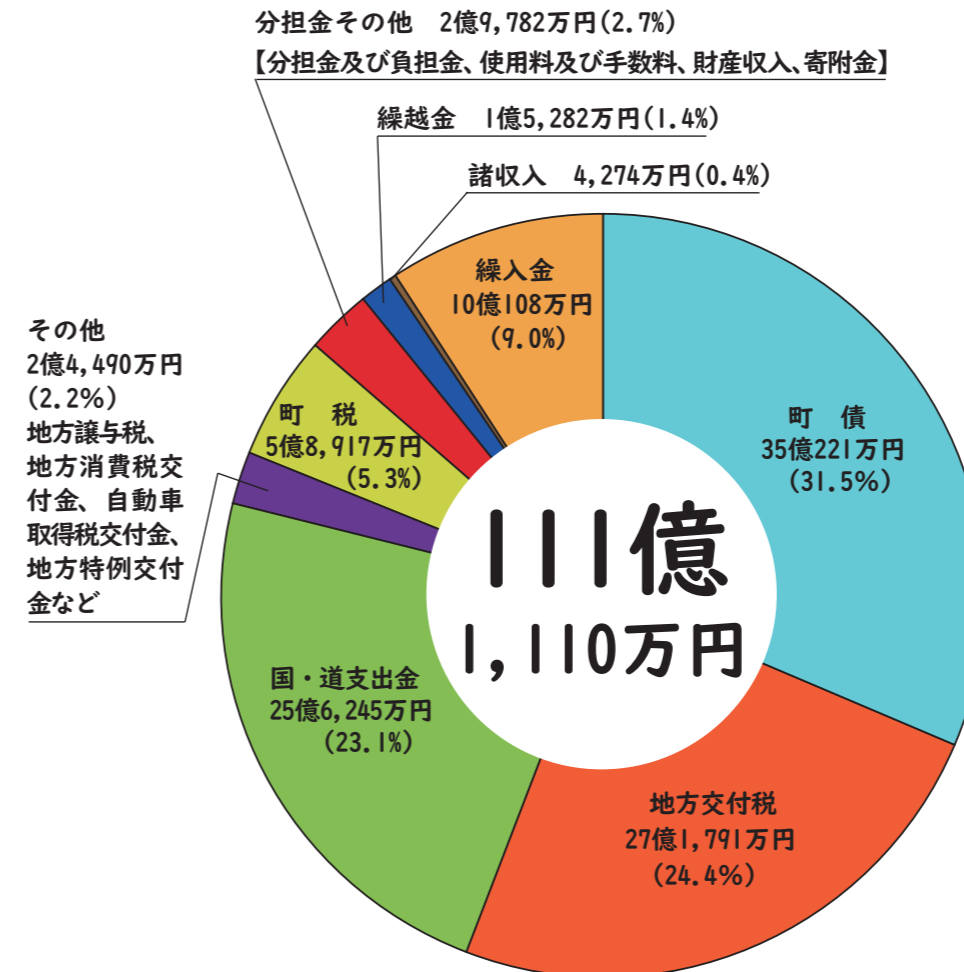


一般会計

歳出

歳出の決算額は、109億3300万円、対前年比72・1%の増となりました。これは総務費、農林業費、消防費等の増が主な要因となっています。歳出の内訳を見ると、庁舎等建設事業や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策としての特別定額給付金給付事業などの総務費が最も大きな支出になっており、令和2年度では、36億3469万円で歳出全体の33・2%を占めています。

総務費が全体の約33%



一般会計

歳入

歳入の決算額は、111億1110万円で、対前年比70・8%の増となりました。これは国庫支出金、道支出金、町債等の増が主な要因となっています。歳入の内訳を見ると、町債が最も大きな財源になっており、令和2年度では35億2211万円で歳入全体の31・5%を占めています。これに地方交付税や国・道支出金、地方譲与税等の交付金などを合わせた依存財源は81・2%になります。

令和元年度と比べて70・8%の増加

特別会計

歳入・歳出

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	6億9,459万円	6億9,362万円
後期高齢者医療事業	9,205万円	9,204万円
介護保険事業	6億4,697万円	6億4,608万円
下水道事業	4億7,911万円	4億7,459万円

企業会計

収益的・資本的収支

簡易水道事業 特別会計	収益的収支	
	収入	支出
	1億7,957万円	2億556万円
	資本的収支	
	収入	支出
	2億5,512万円	2億9,937万円

令和2年度の主な事業(抜粋)

総務費	
庁舎等建設事業	17億5,967万円
特別定額給付金給付事業	4億5,743万円
町民の森自然公園管理業務	6,209万円
衛生費	
地域医療維持助成事業	1億5,898万円
一般産業廃棄物最終処分場施設整備事業	9億9,320万円

農林業費	
畜産クラスター事業	5億2,377万円
産地生産基盤パワーアップ事業	1億5,202万円
教育費	
小学校施設整備事業	6,355万円
中学校施設整備事業	3,845万円
商工費	
商工振興補助費等	1億1,859万円